

古典の日・文学講演会

# 小田原藩の改革と 報徳仕法

講師 馬場 弘臣 氏

元東海大学 教育開発研究センター教授

日時 令和7年 **10月11日** (土)

午後1時～3時

(午後0時45分開場)

会場 秦野市立図書館 視聴覚室

定員 60名 (申込み先着順)

※9月2日(火) 午前9時から電話または図書館のカウンター  
でお申し込みください。



申込み・問い合わせ 秦野市立図書館 電話0463-81-7012

## 講演の概要

二宮尊徳こと二宮金次郎は、天明7年(1787)に小田原藩領の足柄上郡栢山村(現小田原市)で生まれました。農政家・思想家として名を残すことになる金次郎は、当時の小田原藩主大久保忠真に見出され、その恩顧を受けて報徳仕法という一家・一村から藩政に至る経済の再建策・復旧策を提唱します。それはどんな方法で、どんな特徴があったのでしょうか。

秦野市内にあった江戸時代の村35か村のうち、相給の村を含め、11か村が小田原藩領でした。また、そのうちの一つである曾屋村十日市場の米穀商磯屋の安居院庄七は、磯屋の再興とともに遠州地方(静岡県)にも報徳仕法を広めたことで知られています。今回の講演では、報徳仕法展開の前提として、金次郎による仕法の発端と小田原藩の藩政改革との関係についてお話しします。

### 馬場 弘臣氏 プロフィール

1987年 東海大学文学研究科史学専攻博士課程単位取得満期退学

1996年 東海大学文学部非常勤講師

1999年 東海大学資料室(のち、東海大学学園史史料センター)勤務

2007年 東海大学教育研究所准教授

2013年 東海大学教育研究所(のち、東海大学教育開発研究センター)教授

2025年 東海大学退職

#### ・著書

『データで読み解く 宝永富士山大噴火と小田原藩の復興』(野の花出版社)

増補改訂版『幕末風聞集』(野の花出版社) ほか

## 秦野市立図書館

住所: 秦野市平沢94-1

電話: 0463-81-7012

<https://library-hadano.jp/>

#### ■ 秦野駅(北口)から

秦08系統「桜土手経由渋沢駅北口行」→文化会館前下車すぐ

秦11系統「富士見橋経由高砂車庫行」→カルチャーパーク前下車徒歩10分

#### ■ 渋沢駅(北口)から

秦08系統「桜土手経由秦野駅行」→文化会館前下車すぐ